

清瀬市学校支援本部

令和3年度活動報告書

清瀬小学校 (p.4)	清瀬中学校 (p.14)
芝山小学校 (p.5)	第二中学校 (p.15)
第三小学校 (p.6)	第三中学校 (p.16)
第四小学校 (p.7)	第四中学校 (p.17)
第六小学校 (p.8)	第五中学校 (p.18)
第七小学校 (p.9)	
第八小学校 (p.10)	
第十小学校 (p.11)	
清明小学校 (p.12)	

統括コーディネーターの活動報告 (p.19)
学校支援本部たより等の紹介 (p.20～)



清瀬市学校支援本部 HP

令和4年4月発行

清瀬市教育委員会教育部生涯学習スポーツ課
TEL042-497-1815/FAX042-495-3940

学校支援本部設置状況一覧 (Co=コーディネーター) 令和4年3月1日現在

設置年度	学校	Co 氏名	備考	地域連携担当教員
	統括	齊藤 しのぶ	社会教育委員・民生・青少協等	
H29	清瀬小	池田 泉	清中 Co 兼務	原田 真里江 主任教諭
		諸川 幸子	清中 Co 兼務	
R1	芝山小	大津 里美	PTA	西山 理紗 主幹教諭
		山崎 優子	元 PTA	
		原 久美	SSS	
H27	三小	齊藤 しのぶ	元 PTA 会長、二中と四中 Co 兼務	宮本 雄一 主幹教諭
R1	四小	櫻井 みはる	元 PTA 会長	横山 賢作 主幹教諭
		石垣 沙織	元 PTA 会長	
H30	六小	大竹 政雄	六小プロジェクト X 代表	溝口 啓介 主幹教諭
		武田 千晴	元 PTA 会長	
R1	七小	木村 葉子	元七小の会役員	小林 雄太 主幹教諭
		淡路 真由美	元七小の会役員	
R1	八小	福島 崇子	八小の会代表	上島 千尋 主任教諭
R1	十小	石崎 勇仁	地域活動団体等	長田 陽佑 主幹教諭
		原田 亜由美	元保護者・青少協等	
R2	清明小	安松 一美	主任児童員・社協等	原田 真梨子 主幹教諭
		山村 康一	保護者の会会長	
R1	清瀬中	池田 泉	PTA 会長、青少協	薄井 友宏 主幹教諭
		諸川 幸子	元 PTA 副会長・健全育成等	
H30	二中	齊藤 しのぶ	元 PTA 会長、三小と四中 Co 兼務	霜田 誠 主幹教諭
		福本 麻紀	社協等	
R2	三中	田中 登紀子	元 PTA 会長	中田 陽士 主幹教諭
R1	四中	高山 邦子	主任児童員	明村 健太郎 主任教諭
		齊藤 しのぶ	三小と二中 Co 兼務	
H30	五中	森 実樹	元保護者の会代表	平賀 公章 主幹教諭
		青木 知子	元保護者の会副会長	
		本庄 佳緒里	元保護者の会代表	

小学校の活動報告

※作成者：各校のコーディネーター

清瀬市立清瀬小学校

本 部 名	清瀬小学校学校支援本部	活動開始年度	H29 年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	27 学級・671 人
登録ボランティア数	人	令和2年度ボランティア数	延べ 10 人



登下校に関する対応		放課後・夜間における対応
地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応
日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助
給食時の対応		授業準備・補助 ○
学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助

学習支援	○	1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ フ の 平 均 人 数	2 人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延 べ 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）	○		人		2 人		
その他（※）	○	その他の内容	（※）行事補助				

【校内での会議等】

○学校運営連絡協議会（コロナ禍の為郵送にて評価）

【支援活動事例】

- 講師招聘
 - ・4年生算数の授業でそろばん教室を行った。
- 授業補助
 - ・3年生蚕授業で使用する卵の依頼→清瀬第十小学校飯田さん→清瀬小図書支援員齋藤さん
 - ・3年生農家見学を行った。
- 行事補助
 - ・音楽・学習発表会をクラス単位で行う為保護者の入れ替えがスムーズにできるように誘導を行う。
- サタデースクール運営
 - ・本年度もコロナ禍ということで中止といたしました。次年度以降は未定。
- HP
 - ・学校のHPに学校支援本部のページを作成していただき、学校支援本部募集など掲載した。

【効果や成果（教員からの声など）】

コロナ禍ということ、活動場所がないということで、なかなか学校に足を運ぶことができませんでした。特定の学年にはなってしまったが、講師をお招きすることができた。コロナ禍であることで必要とされる行事補助もあった。

次年度は、もう少し、先生方との連携を図れるように新学期早々に話し合いをする時間を確保し、子どもたちの為にできることを増やしていきたい。

サタデースクールは、とても多くの児童が参加していたが授業日数確保のため開講が難しい状況である。

清瀬市立芝山小学校

本 部 名	芝山小学校学校支援本部	活動開始年度	令和 3 年度
コーディネーター数	3 人	学級数・延児童生徒数	12 学級・331 人
登録ボランティア数	現役保護者有志	令和 3 年度ボランティア数	延べ 人



学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整		児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	
	学校行事等の準備・運営		進路指導の補助	

学習支援		1 回当たりの子供の 平均人数	人	1 回当たりのスタッフの 平均人数	人	年間 ボランティア数	延べ 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）			人		人		
その他（※）		その他の 内容	（※）				

【校内での会議等】
 今年度は夏、冬とコロナ感染症感染拡大の為昨年度より実質草むしり。漢検も中止でした。

【支援活動事例】
 3 年飼育観察用カイコ（タマゴ）十小学校支援本部より受け取り芝小へ配布
 7月5日(月)・7月12日(月)の校庭の草むしり。

【効果や成果（教員からの声など）】
 今年度は昨年度より活動に制限があり草むしりも 2 日のみでした。
 教員との活動もなかったのでコロナが終わるまでは実質休業ではないでしょうか？
 次年度以降休業でも問題ないのかな？と思います。

清瀬市立清瀬第三小学校

本 部 名	三小学校支援本部	活動開始年度	平成27年度
コーディネーター数	1人+協力員2人	学級数・延児童生徒数	11学級・271人
登録ボランティア数	30人	令和3年度ボランティア数	延べ 200人

写真 or イラスト (写真タイトル)	学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応	○	放課後・夜間における対応	
		地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
		日々の校内清掃への参加・見守り	○	部活動の補助	
		給食時の対応		授業準備・補助	○
		学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	20人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	6人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延べ 200人
体験活動 (スポーツ)			人		人		
体験活動 (文化・芸術)			人		人		
体験活動 (その他)	○		80人		50人		
その他 (※)		その他の内容	(※) 花壇ボランティア、図書ボランティア、漢検ボランティア、各活動講師さがし				

【校内での会議等】

【支援活動事例】

- 1 ようこそ先輩 (キャリア教育) ⇒ 保育士、警察官、トリマー、音楽療法、作曲家、漫画家、学芸員、保健師
- 2 三小3SUN わいわいプロジェクト ⇒ 5つの講座 (動画作成、理科実験教室、漫画教室、色鉛筆画教室、和太鼓教室)
- 3 サマースクール (夏休み自習教室) ⇒ 地域の方、元校長先生、学生がボランティアとして教室にて見守り活動 (4日間)
- 4 自然観察教室、農家さんの畑を見に行く調整
- 5 各ボランティア活動の運営 ⇒ 花壇ボランティア、図書ボランティア、漢検ボランティア
- 6 学校支援本部事務局会の開催 ⇒ 学校側と大きな行事前に打ち合わせをし、スムーズな運営につなげていく

【効果や成果 (教員からの声など)】

年間を通しての支援本部活動のスケジュールを年度初めに学校側と話し合いを行っているので、活動の見通しが出来るようになっていきます。

今年度もコロナ禍の中ではありますが、出来ることは行っていきました。それには、学校側と密な連携がとれたからではないかと考えます。この関係は、大切なものだと思います。

清瀬市立清瀬第四小学校

本 部 名	四小学校支援本部	活動開始年度	令和元年度
コーディネーター数	2人	学級数・延児童生徒数	9学級・235人
登録ボランティア数	都度募集	令和3年度ボランティア数	延べ 30 人

写真 or イラスト (写真タイトル)	学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応	○	放課後・夜間における対応
		地域ボランティアとの連絡調整		児童生徒の休み時間における対応
		日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助
		給食時の対応		授業準備・補助
		学校行事等の準備・運営		進路指導の補助

学習支援		1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延 べ	人
体験活動 (スポーツ)			人		人			
体験活動 (文化・芸術)			人		人			
体験活動 (その他)			人		人			
その他 (※)	その他の内容		(※)					

【校内での会議等】

OR4 年入学説明会に向けて学校・青少協との三者打ち合わせ

【支援活動事例】

今年度は昨年度同様、学校の方針に基づき感染症対策のため活動を大幅に制限したため、計画した活動のほとんどを行っていない。

以下はその中で行った活動

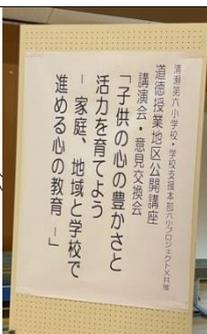
- 学校からの一斉メールを必要に応じてマチコミメールでも配信
- 登校班の編制 (「登校班お世話係 (保護者18名/16班)」の選出、「班長・副班長 (児童)」の選出、新入生の振り分け、転入生の振り分け、学区内転居の対応など)
- R3 年度「安心登校」実施、R4 年度「安心登校」準備
- R3 年度新入生下校時見守りへの青少協との打ち合わせ、在校生保護者募集と調整 (8名)
- 通学路危険箇所点検時の調査と提出一覧の作成 (22か所)
- マチコミメールの未受信者への再登録案内
- 学校資源回収日の調整 (年6回)
- R2 年度給食費監査役保護者依頼 (2名)
- 地域資源回収看板出しボランティア廃止の案内
- R4 年入学説明会時の資料作成 (登校班編制、マチコミ登録案内、個人情報同意書)
- 四小保護者の会の活動サポート (会費集金、印刷物配布、会計監査2名選出など)
- R3 年度卒業対策員の選出と活動サポート

【効果や成果 (教員からの声など)】

○声「学校としてとても助かった。」「来年度は、保護者・地域の皆様のお力をお借りして様々な教育活動が行えるようになってもらいたい。」

清瀬市立清瀬第六小学校

本 部 名	六小プロジェクトX	活動開始年度	平成 30 年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	13 学級・419 人
登録ボランティア数	30 人	令和2年度ボランティア数	延べ 100 人



学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応	○	放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援								
体験活動（スポーツ）		1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延 べ	60 人
体験活動（文化・芸術）	○		人		人			
体験活動（その他）	○		35 人		3 人			
体験活動（その他）	○		63 人		30 人			
その他（※）	○	その他の内容	（※）防災訓練（避難所体験）					

【校内での会議等】

- 会議等 → ・本部運営委員会(CS 準備を含む)
- ・4 月当初に教職員への挨拶の場
 - ・六小学校支援本部ボランティア会合

【支援活動事例】 支援活動内容 → ・教育環境の向上 花壇の整備(花壇ボランティア、12 月)

- ・図書ボランティア(月2回)
- ・登下校の見守り → 地域ボランティアおよび PTA 等と調整中
- ・校内消毒 → 実績無し。(令和2年度は青少協により実施)

講師招聘 → 道徳講座

- ・特別支援&コーチング コラボ講座
- ・道徳授業地区公開講座
- ・大人バンド①
- ・陶芸体験教室

六小土曜講座

- 4 年生校外授業 農業見学(地域野菜の畑)
- 4 年生外部講師講話 地域の防犯(東村山警察署)
- 4 年生外部講師講演 アコーディオン演奏会

企画イベント → 防災訓練、避難所体験(サバイバルキャンプ、11 月)

校内営繕 → 南校庭芝生(緑地整備・維持)

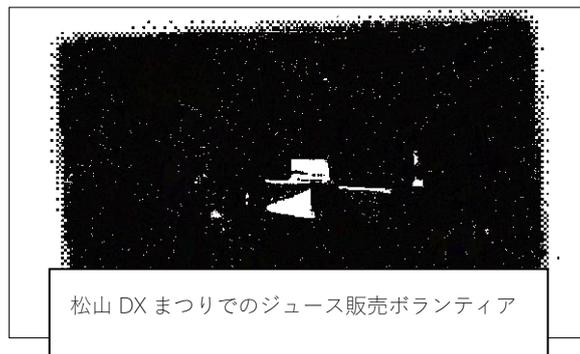
広報活動 → 六プロだより No.5~11。学校支援本部 HP 立ち上げ 8 月

【効果や成果（教員からの声など）】

本年度もコロナ禍の影響が続き、学校、学校支援本部、地域コミュニティとの十分な連携は取れなかった。その中でも専門家や地域有志の協力により新たに外部講座、講演などを行えた。次年度は保護者の協力に加えて、地域の協力を活用し活動を広めたい。

清瀬第七小学校

本 部 名	ななサポ	活動開始年度	平成31年度
コーディネーター数	2人	学級数・延児童生徒数	16学級・296人
登録ボランティア数	登録制ではない	令和2年度ボランティア数	延べ 0人



学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	○
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	1回当たりの子供の 平均人数	7人	1回当たりのスタッフの 平均人数	人	年間 ボランティア数	延べ 160人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）			人		人		
その他（※）	○	その他の内容	読み聞かせ、図書ボランティア、学校行事受付、漢字検定、保護者会児童見守り、地域まつりブース店員、運動会テント設置、自転車教室				

【校内での会議等】

- 学校運営連絡協議会（年3回）
- 七小の会（保護者の会）運営委員会
- 松山 DX（七小地域円卓会議）
- 避難所運営連絡協議会

【支援活動事例】

- 各クラス読み聞かせ
- 学校行事、授業公開受付
- 開校50周年行事来賓対応
- 図書ボランティア（図書室の季節ごとの飾りつけ、図書整理）
- 松山 DX まつり（地域円卓会議主催）での受付、ジュースブース販売ボランティア
- 漢字検定受付、試験監督
- 低学年保護者会時、児童の見守りボランティア
- 運動会テント設置・撤収、駐輪場管理ボランティア
- 3、4年生自転車教室支援

【効果や成果（教員からの声など）】

- コロナの中、各行事の受付は健康調査票のチェックも必要になるので、受付ボランティアがいて助かった。
- きよせラボのココロイキと学校をつなげ、来年度「つれさり、性犯罪被害防止」のセーフティ教室を行うことになった。

学校名 清瀬第八小学校			
本部名	SN8	活動開始年度	平成31年度
コーディネーター数	1人	学級数・延児童生徒数	12学級・380人
登録ボランティア数	3人	令和2年度ボランティア数	延べ 30人

写真 or イラスト (写真タイトル)	学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応	○	放課後・夜間における対応	
		地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
		日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
		給食時の対応		授業準備・補助	○
		学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	1回当たりの子供の 平均人数	人	1回当たりのスタッフの 平均人数	人	年間 ボランティア数	延べ 30人
体験活動 (スポーツ)			人		人		
体験活動 (文化・芸術)			人		人		
体験活動 (その他)			人		人		
その他 (※)	○	その他の内容	(※) 芝生の管理維持作業、芝生まつり 読み聞かせ、図書ボランティア				

【校内での会議等】 2021年1学期 支援本部の顔合わせ→延期 2022年2月9日 支援本部顔合わせ→中止
【支援活動事例】 芝生の維持管理作業の声掛け 水泳授業のサポートへの声掛け その他、学校と協議して
【効果や成果 (教員からの声など)】

清瀬市立清瀬第十小学校

本 部 名	清瀬第十小学校支援本部	活動開始年度	令和元年度
コーディネーター数	1 人	学級数・延児童生徒数	18 学級・584 人
登録ボランティア数	8 人	令和3年度ボランティア数	延べ 50 人



学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	○
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援		1 回当たりの子供の 平均人数	人	1 回当たりのスタッフの 平均人数	人	年 間ボ ラン ティア 数	延べ 5 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）	○		85 人		5 人		
その他（※）		その他の 内容	（※）				

【校内での会議等】

- 十小保護者会での地域支援本部の紹介(4月) → 保護者を対象にご挨拶と本年度の事業の紹介
- 学校支援本部連絡会(5・6・10・12月) → 十小(コーディネータ・事務局)・五中(コーディネータ)と今後の方針のすり合わせや情報交換を行った
- 学校運営連絡協議会に参加(7・11・2月(コロナで中止/書面のみ))
- 校長先生と情報交換・将来の目標等を話し合い(不定期)

【支援活動事例】

- 教育環境の向上
 - ・ 落ち葉清掃 → 保護者、地域ボランティア
- 講師招聘
 - ・ 三年生蚕学習 → 蚕学習ボランティアピュアシルク (謝礼 20,000 円)
- 授業補助
 - ・ IT 技術支援 → オンライン授業の IT 技術支援/事前準備手伝い、模擬オンライン授業への参加/フィードバック
- 学習支援
 - ・ 体育学習発表会での IT 技術支援+当日のカメラマン
 - ・ 三年生遠足(清瀬金山緑地公園)の引率手伝い

【効果や成果(教員からの声など)】

- 五中支援本部との連携を深め、より一層地域からのボランティア参加を募っていきたい
- 急激なオンライン化に対して学校支援本部が多少なりと技術支援ができて良かったと感じた
- もっと学校支援本部の取り組みを地域住民でもある保護者に理解を得るように努力したい
- 三年生の蚕授業が継続して実施できて良かった
- 少しずつ教員・学校スタッフに顔を覚えてもらってきたと感じる

清瀬市立清明小学校

本 部 名	清明小学校支援本部	活動開始年度	令和2年度
コーディネーター数	2人	学級数・延児童生徒数	13学級・422人
登録ボランティア数	20人	令和3年度ボランティア数	延べ 110人

写真 or イラスト (写真タイトル)	学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
		地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
		日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
		給食時の対応		授業準備・補助	○
		学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	35人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	3人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延べ 110人
体験活動(スポーツ)			人		人		
体験活動(文化・芸術)			人		人		
体験活動(その他)	○		70人		8人		
その他(※)		その他の内容	(※)				

【校内での会議等】

本部運営委員会(2ヶ月に1回程度・不定期)

【支援活動事例】

○家庭科授業補助

5年生のミシンのサポート

○青少協主催のプラバン作り補助(学校行事として)

中止となった青少協の子どもまつりの代わりとして、全児童対象にプラバンづくりを実施。

トースターの使用や説明の補助

○パワーアップタイム(算数補習学習)丸付け補助

パワーアップタイムで使われるプリントの丸付け手伝い

○農園アドバイザー

学校にある農園スペースでの作付けや育て方のアドバイス

○書写講師

【効果や成果(教員からの声など)】

○ミシンサポートでは教員だけでは全く手が回らないため、非常に助かったと言っていた。

○様々なイベントが中止となる中、学校行事としてプラバンづくりだけでもできたのが良かった。子どもからも「あの時は楽しかった!」「ありがとう」と声をかけてもらえた。

○パワーアップタイムでは次々に丸付けのために子どもが並ぶため教員一人では大変だったが、補助が入ったことで余裕が出来ていた。

○農園スペースでは授業で扱う野菜を育てていたが、土の状態や連作障害などについて専門の知識がある方からアドバイスを頂いた。今後も継続的に見ていただく予定。

○書写の講師については昨年度から継続して頂いている。来年度も継続の予定。

中学校の活動報告

※作成：各校のコーディネーター

清瀬市立清瀬中学校

本 部 名	清瀬中学校学校支援本部	活動開始年度	令和元年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	16学級・379人
登録ボランティア数	10 人	令和2年度ボランティア数	延べ 25 人



登下校に関する対応	○	放課後・夜間における対応	○
地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
給食時の対応		授業準備・補助	○
学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延 べ 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）	○		人		3人		
体験活動（その他）	○		人		人		
その他（※）	○	その他の 内容	（※）職業講話講師の開拓				

【校内での会議等】

- 評議員会（年1回） ○学校運営連絡協議会（年1回）

【支援活動事例】

- 教育環境の向上
 - ・花壇の整備・清掃 →地域ボランティア コロナ禍により中止
- 講師招聘
 - ・1年生職業講話を予定していましたが、蔓延防止・コロナ感染者が増えた為中止になった。
 - ・2年生ヒッポファミリークラブのご協力で国際理解授業を行った。
 - ・3年生日本の伝統文化＝三味線体験授業を行った。
- 学校行事補助
 - ・入学式・卒業式の受付等お手伝いを行った。
 - ・音楽祭が無観客になるということで、撮影業者をいれ注文・集計・販売を行った。
 - ・KDDI 講座を通し SNS の危険性について学んだ。
- 動画制作
 - ・運動会が無観客になった為、動画撮影を行い、後日 YouTube での配信を行った。
- 検定運営
 - ・漢字検定（年2回）、英語検定（年2回）の集金、ボランティアの募集、準備・運営を行った。
- HP
 - ・学校の HP に学校支援本部のページを作成していただき、学校支援本部募集など掲載した。

【効果や成果（教員からの声など）】

3年目になり、先生方と少しずつ連携がとれるようになってきました。コロナ禍ということで、求められることがありました。漢字検定や英語検定もボランティアの協力で円滑に行うことができました。次年度以降は、新学期が始まったら早々に先生方と顔合わせを行い生徒たちの為に活動していきたい。

清瀬市立清瀬第二中学校

本 部 名	二中学校支援本部	活動開始年度	年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	15 学級・512 人
登録ボランティア数	20 人	令和2年度ボランティア数	延べ 150 人

写真 or イラスト (写真タイトル)	学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
		地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
		日々の校内清掃への参加・見守り	○	部活動の補助	
		給食時の対応		授業準備・補助	○
		学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援		1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延べ 150 人
体験活動 (スポーツ)			人		人		
体験活動 (文化・芸術)			人		人		
体験活動 (その他)	○		180 人		10 人		
その他 (※)	○	その他の内容	(※) 漢検、英検、運動会撮影、花壇ボランティア、各活動講師さがし				

【校内での会議等】

【支援活動事例】

- ワンデーサポート活動 (取りまとめ、運営サポート) ⇒ 合唱コンクール、マラソン大会
- 制服リサイクル活動、ベルマーク収集活動
- 漢検・英検の集金、当日の検定監督 (ボランティア取りまとめ)
- 花壇ボランティア ⇒ 助成金報告書などの作成と提出
- 保護者の会へのサポート活動
- 職業講話の講師さがし (1年生、2年生) ⇒ 飲食業、農業、美容師、保育士、气象台職員、学芸員、漫画家など
- 特色がある活動 (2年生の清瀬を語れる生徒) ⇒ 各関係機関への連絡調整、郷土かるたパネル作成

【効果や成果 (教員からの声など)】

年間の中でルーティーンとなっている活動は、コロナ禍の中でも通常に行う事が出来ました。反対に、コロナ禍だったから依頼があった運動会撮影については、動画作成会社に協力して頂き、地域の方々や学生の方々にも大きな協力を得ることが出来ました。

総合の時間のサポートをするにあたり、学校側と何度も打合せを重ねてよりよい活動につなげていく流れが出来つつあることにコーディネーターとしてのやりがいを感じる事が多くなりました。

清瀬市立清瀬第三中学校

本部名	清瀬第三中学校学校支援本部	活動開始年度	令和2年度
コーディネーター数	人	学級数・生徒数	10学級・314人
登録ボランティア数	人	令和3年度ボランティア数	延べ約 人

	登下校に関する対応	放課後・夜間における対応
	地域ボランティアとの連絡調整	児童生徒の休み時間における対応
	日々の校内清掃への参加・見守り	部活動の補助
	給食時の対応	授業準備・補助
	学校行事等の準備・運営	進路指導の補助

学習支援		1人	1人	人	年間ボランティア数	延べ約 人
体験活動（スポーツ）		人	人	人		
体験活動（文化・芸術）		人	人	人		
体験活動（その他）		人	人	人		
その他（※）	その他の内容	（※）				

【校内での会議等】

○今後の活動についての課題についての確認・打合せ及び教職員や共同事務室への挨拶。（令和4年1月24日実施）

【支援活動事例】

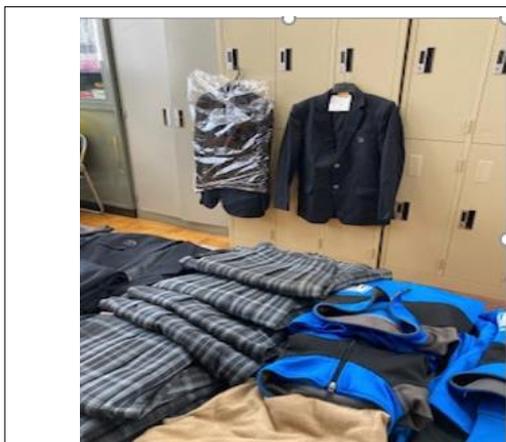
今年度、田中コーディネーターが活動できなかったため、年度途中から統括コーディネーターが三中コーディネーターとしてサポートを行っている。

【効果や成果（教員からの声など）】

今年度から職員室内にコーディネーター用の机をいただき、活動出来るようになった。

清瀬市立清瀬第四中学校

本 部 名	四中学校支援本部	活動開始年度	年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	9 学級・296 人
登録ボランティア数	0 人	令和2年度ボランティア数	延べ 20 人



学校における働き方改革を踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	○
	給食時の対応		授業準備・補助	○
	学校行事等の準備・運営		進路指導の補助	

学習支援	○	1 回当たりの子供の平均人数	人	1 回当たりのスタッフの平均人数	人	年間ボランティア数	延べ 20 人
体験活動 (スポーツ)			人		人		
体験活動 (文化・芸術)			人		人		
体験活動 (その他)	○		100 人		6 人		
その他 (※)	○	その他の内容	(※) 部活ボランティア、図書ボランティア、保健講話の講師等				

【校内での会議等】

【支援活動事例】

- 1 部活動ボランティアへの協力者さがし (学生)
- 2 支援が必要な生徒への協力者さがし (学生)
- 3 生徒会活動 (エコキャップ運動) ⇒ ペットボトルキャップの引き取り業者さがし
- 4 保健講話の講師紹介
- 5 保護者会活動への助言
- 6 制服リサイクル活動

【効果や成果 (教員からの声など)】

月2回程、曜日と時間を決めて四中職員室にコーディネーターとして机に居るようにしています。昨年から行っていることで、先生方や保護者会役員から依頼も増えてきました。とても嬉しい流れだと感じています。保健講話講師さがしでは、地域で活動しているNPOに頼りがいがあり、性教育について新しい切り口で生徒達に講話をして頂きました。学校、生徒達にも好評だったようです。

清瀬市立清瀬第五中学校

本 部 名	五中学校支援本部	活動開始年度	平成30年度
コーディネーター数	3人	学級数・延児童生徒数	9学級・295人
登録ボランティア数	0人	令和3年度ボランティア数	延べ 36人



学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	○
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	6人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延 べ 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）			人		人		
その他（※）		その他の内容	（※）				

【校内での会議等】

- 本部連絡会（4月に学校側と年間の活動内容についての打ち合わせ）
- 新入生保護者説明会、保護者代表者会などに参加し、学校支援本部の紹介を行った
- 支援活動について校長先生からの依頼を受け、関係する先生方と打合せ（随時）

【支援活動事例】

- 教育環境の向上並びに地域交流
 中庭花壇の整備を生徒と地域ボランティアで行った。
- 講師招聘
 - ・全学年道徳授業「いのちの教育」 →学芸大学附属国際中等教育学校教員(謝礼2回講演 20,000円)
 - ・2学年国際理解教育 →ヒッポファミリークラブ(謝礼 10,000円)
- 学習支援
 - ・3学年対象の放課後学習支援教室 →講師 大学院生(謝礼 10,000円)
- 学校支援
 - ・各種行事の保護者向けオンライン配信を行った(運動会、卒業式、総合の時間など7回)

【効果や成果（教員からの声など）】

- コロナ禍による保護者の来校制限がある中、オンライン配信により、沢山の保護者に見て頂く機会を提供し、好評であった。
- 課題としては、学習支援などのボランティアの募集が難しいこと。

統括コーディネーターの活動報告

【支援活動事例】

- 1 学校支援本部運営委員会（年2回）
- 2 学校支援本部幹事会（都度に応じて）
- 3 コーディネーター研修会、情報交換会 ⇒ 東京都より講師を招いて、清瀬ラボ活動、動画作成会社活動、
コーディネーター間の情報共有
- 4 東京都統括コーディネーター会議への参加
- 5 清瀬第三中学校へ、コーディネーターとして活動
- 6 各校へ訪問 ⇒ コロナの影響でなかなか難しく、全部の学校へは行けなかったです。
- 7 東山田コミュニティハウスへ視察

【効果や成果（教員からの声など）】

- ・各校訪問が実現できなかったのが、来年度は短時間でもよいので、校長先生と各校コーディネーターが揃ったところでの訪問をしていきたいです。校長先生から見た支援本部、コーディネーター自身の意見をその場で伺ってみたいです。
- ・他地域への視察も積極的にして行きたいです。

令和3年12月吉日
清瀬第五中学校 学校支援本部 事務局
地域コーディネーター 森 美喜

学校支援本部だより

師走に入り、あわただしい毎日が続いております。学校支援本部主催の道徳授業公開講座も、4回目の開催となりました。今回の道徳授業は、「生老病死」をテーマとした「命の授業」でした。

現在、小・中学校では道徳が教科化され、「いのちの教育」は重要性を増してきています。中でも「臓器移植」は、中学校の「特別の教科 道徳」の教科書に、8社中7社で取り上げられるなど、注目を集める題材です。9月10日、東京学芸大学附属国際中等教育学校より、佐藤 毅教諭をお招きし、講演を行っていただきました。佐藤教諭によると、臓器移植は、生と死の両方を取り上げることができ、生徒が自分や家族、法律、医療従事者など社会全体に視野を向けることができる題材であり、高校保健や道徳科で臓器移植を含めた「いのちの授業」を2000年度から実践しています。本校で開催したその日、その合計が10,000人を超えたとのことでした。

講座では、善意で臓器の提供がなければ成り立たない臓器移植の、「臓器を提供する」「臓器を提供しない」「移植を受ける」「移植を受けない」という「4つの権利」が公平・公正に扱われるよう、臓器提供・移植は厳格なルールと手続きに則って行われていることに加え、「まだ決め切れない」生徒の気持ちも尊重できるように紹介。その後、臓器移植に関する具体的な話に移り、家族と話し合う時間を持つ宿題を出して自らの役割を締めくくり、事後学習につなげました。「この授業に正解はなく、生徒の個々の考え方を大切に進めることができる。」と、佐藤教諭。生徒が死生観について、考えるきっかけを与えたいとしています。



～佐藤教諭からのメッセージ～

本校に限らず他校へ向かいでのいのちの授業を行う理由は、小学5.6年生の時の担任の先生の影響です。当時のクラスにはいじめがあり、先生が「いじめはダメ」と何度も指導しても一向になくなりませんでした。そこで先生は数週間、いのちの授業を行いました。すると自然にいじめはなくなっていきました。恩師のように、いのちの授業を通し、いじめが減り、もっと社会がまあるく穏やかになって欲しいと願っているからです。

当日もお伝えしましたが、他者の意見を傾聴したうえで「自分なら・・・」という考えを持ち、家族で話し合う時間を持っていたら幸いです。

なお、昨年よりのコロナ禍において、保護者の皆様には、運動会の観覧禁止や合唱コンクールの来場制限等、ご不便をおかけしております。学校支援本部でも、できる限り支援を行っておりますが、保護者の皆様にお力をお借りしたいことも多々ございます。お便り等でお声をいたしますので、今後ともご協力をお願いします。

家庭教
保護者の皆様

令和3年6月 15日

清瀬市立芝山小学校
校長 寺井俊敬
学校支援本部

緑の絆 ボランティア募集

雑草が沢山生えてしまっているので芝小の芝生がピンチです!!!

【活動日】

7月 5日(月)・7月12日(月)

【活動時間】

9:30~10:00

【活動場所】 芝山小学校 校庭

【内容】 雑草取り、環境整備

【持ち物】 軍手、タオル、飲み物(熱中症対策)

※小雨決行・雨天中止 締め切り日 6月22日(火)

曜日両日いずれの参加でもOKです。直接校庭へお越しください。



※コロナ感染症感染拡大の状況によって中止になる場合があります。(中止の場合は一斉メールにて連絡いたします。未登録の方は登録願います。) ※この活動にはPTA保険が適用されます。

【問い合わせ先】080-5698-9101(支援本部：大津) 042-493-4312(芝山小学校：本間副校長)

キトリ

緑の絆 ボランティア募集

締め切り日 6月22日(火)

※学年担任の先生に提出してください。(各担任一副校長へお願いします。)

※参加が可能な日にちを○をつけて下さい。(1日のみ、2日共可)

日程 7/5 ・ 7/12

児童のクラス 年 組 氏名 _____

みどりの絆ボランティアに参加する保護者氏名: _____

